

---

# パーセンテージ

朝露しずく

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

パーセンテージ

### 【Nコード】

N6708D

### 【作者名】

朝露しずく

### 【あらすじ】

この世界は永遠に在り、この世界は永遠に亡き。

## 被害者一人目・謎の警告（前書き）

なんでも信じる人は、この小説を読まないように！

## 被害者一人目・謎の警告

この世界は永遠に在り、  
この世界は永遠に亡き。

「……ちよつと、森村さん？」

急に呼ばれたので、私は少しびくつとしてから振り返った。

声を聞いただけで誰かわかった。今野千里だ。成績優秀、容姿端麗、とにかくあらゆる点で模範少女。彼女には四字熟語が良く似合う。

でも、かなり変な人って聞いている。慎重にしないと、爆破される。

「……何？」

「あなた、偶然とか、奇跡とか、信じてるわけ？」

「……？」

答えない私にイラついたのか、今野千里は私の机をバンツと叩いた。読んでいた本が一瞬飛ぶ。今野千里は勝手にしゃべり始めた。

「そんなの信じていたら、へらへら笑っているだけで社長にでもなれちゃうよ？ 信じちゃダメ。世の中は全部、パーセントでがちり決められているのよ」

今野千里はいったんわざとらしく言葉を切り、見下すようにくふんと笑った。

「信じてたら、ころつと死ぬからね！」

そついつて、今野千里は去っていった。

「……何なの、あれ？」

「……さあ？」

私は、友達と顔をあわせ、首をひねった。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6708d/>

---

パーセンテージ

2011年1月16日04時28分発行